

## 実践保育学科 特色ある科目

### ■ボランティアに学ぶ / ボランティア演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

様々なボランティア経験を「ボランティアに学ぶ」「ボランティア演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」として単位化し、その体験から自主性・公共性・奉仕の精神を身につけ、自己実現を図る態度を具体化します。学生自身もつ発想力や自分力を引き出し、将来を担う子どもたちと真剣に向き合う保育者を育てていくことを目指します。

### ■大学で学ぶ / 社会人になるには（キャリア教育）

学生が、短大での生活に適応し順調な学生生活を送ることや将来の就職にむけての基礎学力等の学力向上をさせること、さらに社会人としての心構え等の養成をねらいとしています。保育の即戦力となれるよう、ルール理解やチームワークを大切にするものの意味等を具体的な事例をもとに学習します。また、実習に向かう姿勢等、意欲ある取り組みにつながる養成を意識しています。

### ■コミュニケーション英語 a b

幼児教育・保育に関する英文を中心に、コミュニケーションにつながる学びを意識しています。園児と保育者の間で交わされる会話を想定して、楽しいやりとりにつながるよう展開します。また、授業のなかで幼保英検の合格に向けた対策も行います。グローバル化する社会で活躍できるよう英語に親しみ、多文化共生社会に備えます。

### ■在宅保育

乳幼児の生活の基盤である家庭保育にスポットを当てます。子育て家庭への個別的な保育ニーズに対応するため、在宅保育の基本的な考え方、ベビーシッター・マネージメントやケア等について理解を深め、「家庭訪問保育（在宅保育）」に役立つ柔軟でよりきめ細やかな知識や技術を習得します。

### ■子どもの音楽

音楽は子どもの遊びには欠かせないものです。感性を磨き、心と体の成長のために大きな力を与えてくれます。保育の現場でのピアノの演奏は、子どもとのコミュニケーション手段の一つとして、大変表現力豊かで、楽しいものです。

個々の進度に応じてピアノの個人指導を受けることができるので、無理なく技術を高めていくことができます。2年間の中で多くの曲に触れながら、アレンジする力をつけることも目指します。